平成26年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名　日本たばこ産業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2914　URL　http://www.jti.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小泉　光臣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コミュニケーション責任者　(氏名) 前田　勇気　TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	547,937	7.0	146,483	13.9	141,591	13.9	99,907	15.6	98,104	16.1	184,655	△22.3
25年3月期第1四半期	512,108	17.2	128,570	68.2	124,345	72.4	86,394	80.8	84,519	83.2	237,631	49.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	53.98	53.95
25年3月期第1四半期	44.38	44.36

(注)1.平成25年3月期第1四半期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は7ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。
2.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,024,290	2,007,484	1,920,479	47.7	1,056.67
25年3月期	3,852,567	1,892,431	1,806,543	46.9	993.98

(注)1.平成25年3月期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は7ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。
2.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	30.00	―	38.00	68.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		46.00	―	46.00	92.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,368,000	11.7	616,000	15.7	598,000	17.4	423,000	20.4	415,000	20.8	228.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は7ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	2,000,000,000 株	25年3月期	2,000,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	182,509,788 株	25年3月期	182,510,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	1,817,489,999 株	25年3月期1Q	1,904,294,800 株

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提及び仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる前提及び仮定その他業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、8ページをご参照ください。
(2)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
(3)決算説明会資料等につきましては、当社ウェブサイト(http://www.jti.co.jp/)をご覧ください。

添付資料　目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
（１）連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
（２）連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
（３）連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・ P7
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・ P7
３．要約四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
（１）要約四半期連結財政状態計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書・・・・・ P11
（３）要約四半期連結持分変動計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・ P15
（５）セグメント情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17
（６）継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20
（７）重要な後発事象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20

１．当四半期決算に関する定性的情報

(非 GAAP 指標について)

当社グループは、当社が適用する会計基準である IFRS において定義されていない指標を追加的に開示しております。これらの指標は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理にも利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

自社たばこ製品売上収益

たばこ事業においては、自社たばこ製品に係る売上収益を、売上収益の内訳として追加的に開示しております。具体的には、国内たばこ事業においては、売上収益から輸入たばこ配送手数料等に係る売上収益を控除し、海外たばこ事業においては、売上収益から物流事業及び製造受託等に係る売上収益を控除しております。

調整後 EBITDA

当社グループの業績の有用な比較情報として、営業利益（損失）から、減価償却費及び償却費、調整項目（収益及び費用）を除いた調整後 EBITDA を開示しております。なお、調整項目（収益及び費用）はのれんの減損損失、リストラクチャリング収益及び費用等です。

なお、全社業績における為替一定ベース調整後 EBITDA の成長率も追加的に開示しております。これは、海外たばこ事業における当期の調整後 EBITDA を前年同期の為替レートを用いて換算・算出することにより、為替影響を除いた指標です。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

売上収益

売上収益につきましては、海外たばこ事業における単価上昇効果及び円安影響等により、前年同期比 358 億円増収の 5,479 億円（前年同期比 7.0%増）となりました。

	2013 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	2014 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
売上収益	5,121	5,479	358	7.0
国内たばこ事業	1,731	1,730	△1	△0.1
内、自社たばこ製品	1,653	1,652	△1	△0.1
海外たばこ事業	2,336	2,711	375	16.0
内、自社たばこ製品	2,167	2,523	356	16.4
医薬事業	127	168	41	32.7
飲料事業	465	459	△6	△1.3
加工食品事業	420	374	△46	△10.9

※ 連結外部に対する収益を表示しております。

※ 売上収益には、上記のセグメントに係る売上収益の他、不動産賃貸等に係る売上収益があります。詳細につきましては、18 ページ「３．要約四半期連結財務諸表（５）セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

※ 加工食品事業の前年同期の売上収益には 2012 年 12 月に事業停止を行った水産事業に係る売上収益が含まれており、これを除いた売上収益は 369 億円となります。従いまして、水産事業を除く加工食品事業の売上収益につきましては、前年同期比 5 億円の増収となります。

営業利益及び調整後 EBITDA

海外たばこ事業における単価上昇効果及び円安影響等により、営業利益は前年同期比 179 億円増益の 1,465 億円（前年同期比 13.9%増）となりました。また、減価償却費及び償却費等を除いた調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 212 億円増益の 1,772 億円（前年同期比 13.6%増）となりました。なお、為替一定ベース調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 4.0%の成長となります。

	2013 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	2014 年 3 月期 第 1 四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
調整後 EBITDA	1,560	1,772	212	13.6
国内たばこ事業	766	758	△8	△1.1
海外たばこ事業	800	990	190	23.8
医薬事業	△35	△1	34	―
飲料事業	26	10	△16	△61.7
加工食品事業	18	18	0	0.3
営業利益	1,286	1,465	179	13.9

※ 営業利益・調整後 EBITDA には、上記のセグメント以外に係る営業利益・調整後 EBITDA を含みます。詳細につきましては、18 ページ「３．要約四半期連結財務諸表（５）セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

四半期利益（親会社所有者帰属）

営業利益の増益により、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては前年同期比 136 億円増益の 981 億円（前年同期比 16.1%増）となりました。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

当第 1 四半期においては、ブランド名称をマイルドセブンから刷新したメビウスより、香りチェンジカプセルを搭載した「メビウス・プレミアム・メンソール・オプション」3 銘柄を新たに発売する等、ブランド・エクイティのさらなる向上に努めました。また、積極的な販売促進活動を実施したことにより、販売が好調に推移し、当第 1 四半期のシェアは 60.5%（前年度シェア 59.6%）と着実に上昇してきております。

その結果、国内における紙巻たばこの販売数量は、総需要が 2.0%減少したものの、前年同期と同水準の 293 億本 (注) （前年同期比 0.2%減）となりました。

当第 1 四半期における売上収益は前年同期と同水準の 1,730 億円（前年同期比 0.1%減）、自社たばこ製品売上収益は前年同期と同水準の 1,652 億円（前年同期比 0.1%減）となりました。なお、国内紙巻たばこの千本当売上収益は 5,491 円となりました。

また利益面では、調整後 EBITDA は前年同期比 8 億円減益の 758 億円（前年同期比 1.1%減）となりました。なお、メビウスへの投資は着実に実行しております。

（注）当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第 1 四半期における販売数量 9 億本があります。

〔海外たばこ事業〕

当第1四半期におけるGFB(注1)の販売数量につきましては、「ウィンストン」がロシア、コーカサスで、「LD」がトルコ、カザフスタンで増加しましたが、欧州での景気停滞に伴う総需要の減少及び複数市場における流通在庫の調整によるマイナス影響により、前年同期に対し27億本減少し584億本（前年同期比4.5%減）となりました。また、GFBを含む総販売数量につきましても、ロシアを除く主要市場におけるシェアの伸長、大手RYO/MYO(注2)たばこ会社であるGryson社の買収効果があるものの、前年同期に対し63億本減少し926億本（前年同期比6.4%減）となりました。

販売数量の減少影響を受けたものの、単価上昇効果がこれをほぼ相殺したことにより、ドルベースの売上収益は前年同期比12百万ドル減収の2,932百万ドル（前年同期比0.4%減）、自社たばこ製品売上収益は前年同期比2百万ドル減収の2,729百万ドル(前年同期比0.1%減)となりました。調整後EBITDAは、販売数量の減少影響を単価上昇効果が上回り、前年同期比63百万ドル増益の1,070百万ドル（前年同期比6.2%増）となりました。

邦貨換算時に円安影響を受けた結果、当第1四半期における売上収益は前年同期比375億円増収の2,711億円(前年同期比16.0%増)、自社たばこ製品売上収益は前年同期比356億円増収の2,523億円（前年同期比16.4%増）、調整後EBITDAは前年同期比190億円増益の990億円（前年同期比23.8%増）となりました。

(注1) 当社グループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス（マイルドセブン）」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

(注2) RYOとはRoll Your Ownの略で、一般的に、お客様ご自身の手で巻紙を用いて手巻きするための刻たばこを意味します。MYOとはMake Your Ownの略で、一般的に、お客様が器具と筒状の巻紙を用いて紙巻たばこを作製するための刻たばこを意味します。

※ 当第1四半期における為替レートにつきましては、前年同期比13.11円 円安の1米国ドル＝92.46円（前年同期は1米国ドル＝79.35円）です。
また、主要な現地通貨の米国ドルに対するレートにつきましては、以下のとおりです。

為替レート (1米国ドル)	2013年3月期第1四半期	2014年3月期第1四半期
ルーブル	30.15ルーブル	30.40ルーブル
英ポンド	0.64英ポンド	0.64英ポンド
ユーロ	0.76ユーロ	0.76ユーロ

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の迅速且つ円滑な上市及び各製品の価値最大化を通じ、収益基盤の更なる強化を目指しております。

抗 HIV 薬「JTK-303」を含む「スタリビルド配合錠」につきましては、当社での製造販売承認取得後、2013 年 5 月より子会社鳥居薬品㈱が国内で販売しております。同配合錠については、「JTK-303」の導出先であるギリアド・サイエンシズ社が、米国に続き、2013 年 5 月に欧州医薬品庁の承認を取得し、欧州各国で上市を進めております。同社は「JTK-303」単剤についても、米国 FDA 及び欧州医薬品庁等へ承認申請を行っております。

また、MEK 阻害剤（trametinib）につきましては、導出先のグラクソ・スミスクライン社が、2013 年 5 月にメラノーマを適応症として米国 FDA の承認を取得し、6 月より米国で販売しているとともに、欧州医薬品庁へも承認申請を行っております。

なお、国内において、当社が高リン血症治療薬「JTT-751」を、鳥居薬品がスギ花粉症に対する舌下免疫療法薬「TO-194SL」を、それぞれ 2012 年度に製造販売承認申請を行っております。

当第 1 四半期における売上収益につきましては、鳥居薬品における「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」「ツルバダ配合錠（抗 HIV 薬）」等の増収や、既導出品の開発進展に伴う一時金収入等により、前年同期比 41 億円増収の 168 億円（前年同期比 32.7%増）となりました。調整後 EBITDA につきましては、売上収益の増加により 34 億円改善し、1 億円のマイナス（前年同期の調整後 EBITDA は 35 億円のマイナス）となりました。

※ 臨床開発品目につきましては、本日公表の 2013 年度第 1 四半期決算説明会資料の「臨床開発品目一覧(2013 年 7 月 30 日現在)」をご覧ください。

〔飲料事業〕

当第 1 四半期において、基幹ブランド「ルーツ」からは、香り高い味わいに一層磨きをかけた「アロマブラック」「アロマレボリュート微糖」、さらにロングボトルサイズの「アロマブラック」400g ボトル缶をリニューアル発売するとともに、「桃の天然水」からは、ほのかな桃味とすっきりとした後口を楽しめる、食物繊維入りのウォータータイプ「桃の天然水 CLEAR」の販売を開始する等、積極的な商品投入に努めました。

当第 1 四半期における売上収益につきましては、「桃の天然水」が対前年で伸長した一方、自販機販路におけるカップ機等の減収やボトル缶コーヒー市場の競争激化等もあり、前年同期比 6 億円減収の 459 億円（前年同期比 1.3%減）となりました。調整後 EBITDA につきましても、減収影響に加え、質の高い自販機オペレーションの更なる強化や販路拡大等、営業力強化に向けた費用の増加等により、前年同期比 16 億円減益の 10 億円（前年同期比 61.7%減）となりました。

〔加工食品事業〕

当第 1 四半期においては、引き続き、冷凍麺、冷凍米飯、パックご飯、焼成冷凍パンといったステープル（主食）商品に注力した商品展開を図りました。具体的には、凍ったまま食べる新感覚のベーカリースイーツ「フローズンクロワッサン」、“うどん”のおいしさと“パスタ”の魅力を兼ね備えた新しい具付き麺「うどん DELI」シリーズから、コクと旨みのある韓国風の味わいを野菜と一緒に楽しめる「うどん DELI　コチュジャン仕立て」の販売を開始する等、積極的な商品投入に努めました。

当第 1 四半期における売上収益につきましては、ステープル商品の伸長はあったものの、2012 年 12 月に水産事業の事業停止を行った影響等により前年同期比 46 億円減収の 374 億円（前年同期比 10.9%減）となりました。なお、水産事業を除く売上収益につきましては、前年同期比 5 億円の増収となります。

調整後 EBITDA につきましては、円安に伴う原価上昇はあったものの、ステープル商品の伸長等もあり、前年同期から微増の 18 億円（前年同期比 0.3%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ119億円減少し、1,308億円となりました（前年同期末残高3,407億円）。

※ 日本国内において、前年同期末、前年度末及び当第１四半期末はいずれも金融機関の休日であったため、未払たばこ税は、期末日が金融機関の営業日である場合に比べ１ヶ月分多くなっております。なお、前年同期末、前年度末及び当第１四半期末の翌金融機関営業日に納付した国内のたばこ税支払額は、それぞれ1,626億円、1,366億円、1,605億円です。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第１四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、39億円の収入（前年同期は981億円の収入）となりました。これは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出があった一方、法人税及び賞与の支払等があったことによるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第１四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、153億円の支出（前年同期は264億円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等があったことによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第１四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、41億円の支出（前年同期は1,405億円の支出）となりました。これは、借入を行った一方で、配当金の支払等があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、2013年４月25日発表の予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第１四半期の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

（会計方針の変更）

当社が当第１四半期より適用している基準は以下のとおりです。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS 第 7 号	金融商品：開示	金融資産・負債の相殺に関する開示
IFRS 第 10 号	連結財務諸表	被投資企業の性質に関わらず適用すべき、支配の定義、支配の要素、支配の有無の評価基準等を設定
IFRS 第 11 号	共同支配の取決め	複数の参加者が共同支配を有するアレンジメントについて、アレンジメントの法的形式のみではなく、法的形式、資産・負債への契約上の取り決め、その他の事実・状況を総合して分類することを規定 また、分類ごとに会計処理を設定
IFRS 第 12 号	他の企業への関与の開示	非連結を含めた他の事業体への持分について、開示を拡充
IFRS 第 13 号	公正価値測定	すべての基準書で適用すべき公正価値測定のガイダンスを提供し、従来は個々の基準書で定義されていた公正価値の定義を統一
IAS 第 1 号	財務諸表の表示	その他の包括利益の項目の表示方法を改訂
IAS 第 19 号	従業員給付	数理計算上の差異、過去勤務費用及び利息費用他の認識方法、表示方法並びに退職後給付の開示の変更
IAS 第 28 号	関連会社及び共同支配企業に対する投資	IFRS 第 10 号、IFRS 第 11 号及び IFRS 第 12 号の公表に基づく変更

上記の基準について、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

なお、上記基準のうち IAS 第 19 号については、経過措置に従い比較情報について遡及修正を行っております。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途本日公表の「2013 年度第１四半期 決算説明会資料」に記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

(1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
(2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
(3) 国内外の訴訟の動向
(4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
(5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
(6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
(7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
(8) 国内外の経済状況
(9) 為替変動及び原材料費の変動
(10) 自然災害及び不測の事態等

３．要約四半期連結財務諸表

（１）要約四半期連結財政状態計算書

	前年度 (2013年３月31日) 修正再表示*	当第１四半期 (2013年６月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	142,713	130,813
営業債権及びその他の債権	387,837	395,372
棚卸資産	473,042	490,272
その他の金融資産	29,103	21,648
その他の流動資産	177,858	244,138
小計	1,210,552	1,282,243
売却目的で保有する非流動資産	2,594	2,505
流動資産合計	1,213,146	1,284,748
非流動資産		
有形固定資産	672,316	696,917
のれん	1,316,476	1,378,470
無形資産	348,813	353,344
投資不動産	58,995	58,631
退職給付に係る資産	14,825	15,859
持分法で会計処理されている投資	22,940	23,524
その他の金融資産	71,781	75,544
繰延税金資産	133,276	137,252
非流動資産合計	2,639,421	2,739,543
資産合計	3,852,567	4,024,290

	前年度 (2013年３月31日) 修正再表示*	当第１四半期 (2013年６月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	312,741	289,731
社債及び借入金	44,301	271,903
未払法人所得税等	85,714	43,211
その他の金融負債	8,550	10,187
引当金	5,256	4,214
その他の流動負債	656,305	699,593
小計	1,112,867	1,318,840
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	101	101
流動負債合計	1,112,968	1,318,941
非流動負債		
社債及び借入金	270,399	114,682
その他の金融負債	18,844	19,345
退職給付に係る負債	342,604	348,464
引当金	4,786	4,971
その他の非流動負債	113,226	110,264
繰延税金負債	97,309	100,139
非流動負債合計	847,168	697,865
負債合計	1,960,137	2,016,806
資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,411	736,411
自己株式	(344,573)	(344,572)
その他の資本の構成要素	(155,420)	(70,486)
利益剰余金	1,470,125	1,499,125
親会社の所有者に帰属する持分	1,806,543	1,920,479
非支配持分	85,887	87,005
資本合計	1,892,431	2,007,484
負債及び資本合計	3,852,567	4,024,290

＊「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日） 修正再表示*	当第１四半期 （自 2013年４月１日 至 2013年６月30日）
	百万円	百万円
売上収益	512,108	547,937
売上原価	(216,819)	(220,522)
売上総利益	295,289	327,415
その他の営業収益	3,027	4,748
持分法による投資利益	246	274
販売費及び一般管理費等	(169,991)	(185,954)
営業利益	128,570	146,483
金融収益	1,085	1,444
金融費用	(5,310)	(6,336)
税引前四半期利益	124,345	141,591
法人所得税費用	(37,951)	(41,684)
四半期利益	86,394	99,907
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	84,519	98,104
非支配持分	1,875	1,803
四半期利益	86,394	99,907
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	44.38	53.98
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	44.36	53.95

営業利益から調整後EBITDAへの調整表

	前第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日） 修正再表示*	当第１四半期 （自 2013年４月１日 至 2013年６月30日）
	百万円	百万円
営業利益	128,570	146,483
減価償却費及び償却費	28,166	32,181
調整項目(収益)	(1,228)	(1,624)
調整項目(費用)	469	128
調整後EBITDA	155,978	177,169

＊「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

要約四半期連結包括利益計算書

	前第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日） 修正再表示*	当第１四半期 （自 2013年４月１日 至 2013年６月30日）
	百万円	百万円
四半期利益	86,394	99,907
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	(769)	900
確定給付型退職給付制度の再測定額	(87)	(26)
純損益に振り替えられない項目の合計	(857)	874
後に純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	152,136	83,856
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	(43)	19
後に純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	152,093	83,874
税引後その他の包括利益	151,237	84,748
四半期包括利益	237,631	184,655
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	235,447	182,942
非支配持分	2,185	1,713
四半期包括利益	237,631	184,655

＊「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

（３）要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分						
				その他の資本の構成要素			
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動体の換算差額*	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2012年４月１日　残高	100,000	736,410	(94,574)	1,028	(387,228)	(309)	10,146
四半期利益	－	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	151,835	(43)	(779)
四半期包括利益	－	－	－	－	151,835	(43)	(779)
自己株式の取得	－	－	－	－	－	－	－
自己株式の処分	－	－	－	－	－	－	－
株式に基づく報酬取引	－	－	－	72	－	－	－
配当金	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	－	－	－	(0)
その他の増減	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	－	72	－	－	(0)
2012年６月30日　残高	100,000	736,410	(94,574)	1,101	(235,394)	(352)	9,367
2013年４月１日　残高	100,000	736,411	(344,573)	1,274	(171,341)	(187)	14,835
四半期利益	－	－	－	－	－	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	83,978	19	901
四半期包括利益	－	－	－	－	83,978	19	901
自己株式の取得	－	－	(0)	－	－	－	－
自己株式の処分	－	0	1	(1)	－	－	－
株式に基づく報酬取引	－	－	－	58	－	－	－
配当金	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	－	－	－	(21)
その他の増減	－	－	－	－	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	0	0	57	－	－	(21)
2013年６月30日　残高	100,000	736,411	(344,572)	1,331	(87,363)	(169)	15,715

＊ 会計方針の変更に伴い遡及修正を行っております（「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照）。

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	確定給付型退職給付制度の再測定額*	合計*	利益剰余金*	合計*	非支配持分*	資本合計*
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2012年４月１日　残高	－	(376,363)	1,268,944	1,634,418	80,576	1,714,994
四半期利益	－	－	84,519	84,519	1,875	86,394
その他の包括利益	(87)	150,927	－	150,927	310	151,237
四半期包括利益	(87)	150,927	84,519	235,447	2,185	237,631
自己株式の取得	－	－	－	－	－	－
自己株式の処分	－	－	－	－	－	－
株式に基づく報酬取引	－	72	－	72	－	72
配当金	－	－	(57,129)	(57,129)	(414)	(57,543)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	87	87	(87)	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	728	728
所有者との取引額等合計	87	159	(57,215)	(57,057)	314	(56,743)
2012年６月30日　残高	－	(225,277)	1,296,249	1,812,807	83,075	1,895,882
2013年４月１日　残高	－	(155,420)	1,470,125	1,806,543	85,887	1,892,431
四半期利益	－	－	98,104	98,104	1,803	99,907
その他の包括利益	(60)	84,838	－	84,838	(90)	84,748
四半期包括利益	(60)	84,838	98,104	182,942	1,713	184,655
自己株式の取得	－	－	－	(0)	－	(0)
自己株式の処分	－	(1)	－	0	－	0
株式に基づく報酬取引	－	58	－	58	－	58
配当金	－	－	(69,065)	(69,065)	(1,755)	(70,819)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	60	39	(39)	－	－	－
その他の増減	－	－	－	－	1,160	1,160
所有者との取引額等合計	60	96	(69,104)	(69,007)	(595)	(69,602)
2013年６月30日　残高	－	(70,486)	1,499,125	1,920,479	87,005	2,007,484

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日） 修正再表示*	当第１四半期 （自 2013年４月１日 至 2013年６月30日）
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	124,345	141,591
減価償却費及び償却費	28,166	32,181
減損損失	168	146
受取利息及び受取配当金	(949)	(1,244)
支払利息	2,689	2,235
持分法による投資損益（益）	(246)	(274)
有形固定資産、無形資産及び投資不動産除売却損益（益）	(892)	(730)
営業債権及びその他の債権の増減額（増加）	(14,056)	(1,917)
棚卸資産の増減額（増加）	7,300	4,593
営業債務及びその他の債務の増減額（減少）	(7,618)	(21,722)
退職給付に係る負債の増減額（減少）	(1,776)	(505)
前払たばこ税の増減額（増加）	(30,821)	(42,817)
未払たばこ税等の増減額（減少）	71,549	59,608
未払消費税等の増減額（減少）	(9,400)	(9,220)
その他	(39,683)	(72,586)
小計	128,774	89,337
利息及び配当金の受取額	1,464	2,123
利息の支払額	(2,474)	(1,944)
法人所得税等の支払額	(29,641)	(85,649)
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,124	3,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	(440)	(434)
投資の売却及び償還による収入	417	4,129
有形固定資産の取得による支出	(22,577)	(22,963)
投資不動産の売却による収入	1,220	9,319
無形資産の取得による支出	(5,547)	(9,977)
定期預金の預入による支出	(7,230)	(162)
定期預金の払出による収入	7,260	4,198
その他	477	581
投資活動によるキャッシュ・フロー	(26,419)	(15,309)

	前第１四半期 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日） 修正再表示*	当第１四半期 （自 2013年４月１日 至 2013年６月30日）
	百万円	百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
支払配当金	(56,601)	(66,508)
非支配持分への支払配当金	(414)	(1,109)
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（減少）	(1,559)	64,899
長期借入による収入	532	70
長期借入金の返済による支出	(81,214)	(185)
社債の償還による支出	(50)	－
ファイナンス・リース債務の返済による支出	(1,195)	(1,288)
自己株式の取得による支出	－	(0)
その他	－	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	(140,501)	(4,122)
現金及び現金同等物の増減額（減少）	(68,796)	(15,565)
現金及び現金同等物の期首残高	404,740	142,713
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	4,756	3,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	340,700	130,813

＊「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

（５）セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定されております。

当社グループは主に製造たばこ、医薬品、飲料、加工食品を製造・販売しており、そのうち製造たばこについては、国内と海外に分けて事業管理を行っております。従って当社グループは、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分されたセグメントから構成されており、「国内たばこ事業」、「海外たばこ事業」、「医薬事業」、「飲料事業」、「加工食品事業」の５つを報告セグメントとしております。

「国内たばこ事業」は、国内(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場を含みます)での製造たばこの製造・販売を行っております。「海外たばこ事業」は、製造・販売を統括するJT International S.A.を中核として、海外での製造たばこの製造・販売を行っております。「医薬事業」は、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行っております。「飲料事業」は、清涼飲料水の製造・販売を行っております。「加工食品事業」は、冷凍・常温加工食品、ベーカリー及び調味料等の製造・販売を行っております。

② セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。取締役会は、収益と調整後EBITDAを検討のうえ、セグメント業績を評価し、経営資源の配分を決定しております。金融収益、金融費用、法人所得税費用はグループ本社で管理されるため、これらの収益・費用はセグメントの業績から除外しております。なお、セグメント間の取引は概ね市場実勢価格に基づいております。

前第１四半期（自 2012年４月１日　至 2012年６月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益(注４)	173,084	233,632	12,695	46,535	42,005	507,951	4,157	－	512,108
セグメント間収益	7,331	7,688	－	34	143	15,196	2,335	(17,530)	－
収益合計	180,415	241,319	12,695	46,569	42,148	523,147	6,492	(17,530)	512,108
セグメント損益									
調整後EBITDA(注１)	76,608	79,965	(3,516)	2,624	1,774	157,455	(1,166)	(312)	155,978

当第１四半期（自 2013年４月１日　至 2013年６月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益(注４)	172,984	271,092	16,845	45,929	37,425	544,276	3,662	－	547,937
セグメント間収益	5,462	8,731	－	33	204	14,430	2,518	(16,949)	－
収益合計	178,446	279,823	16,845	45,963	37,629	558,706	6,180	(16,949)	547,937
セグメント損益									
調整後EBITDA(注１)	75,780	98,962	(76)	1,006	1,779	177,451	(129)	(153)	177,169

調整後EBITDAから税引前四半期利益への調整表

前第１四半期（自 2012年４月１日　至 2012年６月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
調整後EBITDA（注１）	76,608	79,965	(3,516)	2,624	1,774	157,455	(1,166)	(312)	155,978
減価償却費及び償却費	(9,624)	(12,601)	(820)	(2,483)	(1,762)	(27,290)	(954)	78	(28,166)
調整項目（収益）（注５）	1,200	5	－	－	－	1,205	23	－	1,228
調整項目（費用）（注５）	(4)	(258)	－	－	－	(262)	(207)	－	(469)
営業利益（損失）	68,179	67,111	(4,335)	141	12	131,108	(2,304)	(234)	128,570
金融収益									1,085
金融費用									(5,310)
税引前四半期利益									124,345

当第１四半期（自 2013年４月１日　至 2013年６月30日）

	報告セグメント						その他（注３）	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ（注２）	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
調整後EBITDA（注１）	75,780	98,962	(76)	1,006	1,779	177,451	(129)	(153)	177,169
減価償却費及び償却費	(11,136)	(15,096)	(873)	(2,595)	(1,682)	(31,383)	(876)	77	(32,181)
調整項目（収益）（注５）	1,044	－	－	－	126	1,171	454	－	1,624
調整項目（費用）（注５）	－	17	－	－	(71)	(53)	(75)	－	(128)
営業利益（損失）	65,688	83,883	(949)	(1,589)	153	147,185	(626)	(76)	146,483
金融収益									1,444
金融費用									(6,336)
税引前四半期利益									141,591

(注１) 調整後EBITDAは、営業利益(損失)から減価償却費及び償却費、調整項目(収益及び費用)を除外しております。
(注２) 「海外たばこ」に区分したJT International S.A.を中核とする海外子会社グループの年度決算日は12月31日であり、１月１日から３月31日までの損益等を前第１四半期及び当第１四半期に計上しております。
(注３) 「その他」には、不動産賃貸に係る事業活動等及び報告セグメントに帰属しない企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等の本社経費が含まれております。
(注４) 国内たばこ事業及び海外たばこ事業における自社たばこ製品売上収益は、以下のとおりであります。

	前第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)	当第１四半期 (自 2013年４月１日 至 2013年６月30日)
	百万円	百万円
国内たばこ	165,284	165,164
海外たばこ	216,705	252,291

(注５) 調整項目(収益)には、不動産の処分に伴う売却益等のリストラクチャリング収益を含んでおります。また、調整項目(費用)には、工場閉鎖等に係るリストラクチャリング費用の他、葉たばこ農家に対する廃作協力金を含んでおります。
調整項目(費用)の主な内訳は、以下のとおりであります。

	前第１四半期 (自 2012年４月１日 至 2012年６月30日)	当第１四半期 (自 2013年４月１日 至 2013年６月30日)
	百万円	百万円
リストラクチャリング費用	465	128
葉たばこ農家に対する廃作協力金	4	－
調整項目(費用)	469	128

前第１四半期におけるリストラクチャリング費用は、海外たばこ事業における割増退職加算金等にかかる費用を含んでおります。

（６）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
当社は、2013年７月23日に下記のとおり米ドル建普通社債を発行いたしました。

① 社債の種類　米ドル建普通社債
② 社債総額　金５億米ドル
③ 利率　年2.100％
④ 払込金額　各社債の金額100米ドルにつき金99.891米ドル
⑤ 償還金額　各社債の金額100米ドルにつき金100米ドル
⑥ 発行年月日　2013年７月23日
⑦ 償還期限　2018年７月23日
⑧ 償還方法　満期一括償還
ただし発行後の買入消却を可能とし、また、任意繰上償還条項及び課税発生繰上償還条項を付している
⑨ 担保　日本たばこ産業株式会社法に基づく一般担保
⑩ 資金の使途　短期借入の借換え